

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

クロアチアへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2024年7月12日（継続/一部地域解除）

シサク・モスラヴィナ県、カルロヴァツ県、リカ・セニ県 及びスプリト・ダルマチア県の一部	[レベル1] 「十分注意してください。」（継続）
オシェク・バラニヤ県、シベニク・クニン県	危険レベル解除

【ポイント】

- シサク・モスラヴィナ県、カルロヴァツ県、リカ・セニ県及びスプリト・ダルマチア県の一部には、過去の紛争時に埋設された地雷が脇道や山野等に依然として残存しているため、「危険レベル1：十分注意してください」を発出しています。詳しい地域については、地図を確認してください。
- オシェク・バラニヤ県、シベニク・クニン県については、地雷の除去作業が完了したため、危険レベルを解除します。

【概況】

- (1) クロアチアには、1991年から1995年の独立紛争時に埋設された地雷が残存しており、その除去作業は現在も継続しています（クロアチア国内の地雷残存地域：約84平方キロメートル（2024年5月時点））。2023年1月には、山間部で狩猟をしていたハンターが地雷で死傷する事故が発生し、同年2月には地雷の除去作業に従事していた職員が死亡する事故が発生しました。地雷に関する詳細な情報は、クロアチア内務省（クロアチア語 <https://civilna-zastita.gov.hr/UserDocsImages/145>）で確認できます。
- (2) テロによる日本人の被害は、シリアやアフガニスタンといった渡航中止勧告や退避勧告が発出されている国・地域に限りません。テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアをはじめとする世界中で発生しており、これまでテロによる日本人の被害も確認されています。近年は、軍基地や政府関連施設だけでなく、警備や監視が手薄で一般市民が多く集まる場所（ソフトターゲット）を標的としたテロが世界各地で頻発しています。これらは組織性が低い単独犯によるテロが多く、事前の取締りが難しいため、今後も継続することが懸念されます。特に、観光施設周辺、イベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、公共交通機関、宗教関連施設等は、警備や監視が手薄で不特定多数の人が集まるため、テロの標的となりやすく、常に注意が必要です。テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的になり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。また、クロアチアのテロや誘拐に関する情報については、テロ・誘拐情勢（https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_188.html）も参照してください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ : <http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbright.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として【レベル1】「十分注意してください」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。